

学校教育自己診断結果データ分析（令和3年度）

1. 自己診断配付数及び回答数

令和3年度回答人数

	教員	生徒※	保護者	合計
配付	61	906	906	1873
回答	60	1118	592	1770
%	98.4	123.4	65.3	94.5

※複数回送信した回答者がいると考えられる。

2. 観点別肯定率（肯定的回答の割合）

	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度
【保護者】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	91	92	92	92
②学習指導に関するもの	75	72	72	74
③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの	84	88	85	84
④進路指導に関するもの	86	82	84	86
⑤いじめに関するもの	89	86	87	85
⑥道徳教育・人権教育に関するもの	91	89	89	85
⑦情報提供に関するもの	86	82	78	84
⑧学校教育への参画に関するもの	62	41	78	76
【生徒】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校に対する意識に関するもの	89	88	81	83
②学習指導に関するもの	89	86	84	83
③生徒指導に関するもの	82	78	75	84
④進路指導に関するもの	90	90	87	89
⑤いじめに関するもの	88	84	74	83
⑥教育相談に関するもの	74	63	68	69
⑦道徳教育・人権教育に関するもの	88	86	83	82
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	84	90	91	91
【教員】	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)	肯定率(%)
①学校組織に関するもの	86	76	80	84
②教育活動の改善に関するもの	91	68	75	79
③学習指導に関するもの	86	73	79	75
④生徒指導に関するもの	82	75	77	75
⑤進路指導に関するもの	90	86	85	82
⑥いじめに関するもの	91	77	95	90
⑦教育相談に関するもの	72	81	92	85
⑧特別活動、学校行事等に関するもの	83	76	75	89
⑨保護者への情報提供に関するもの	78	75	75	78

3. 分析

【学習指導】

○「授業を受けることで知識が増えたり、技術が身についたりする」については、生徒向けでは91%（R2:89%）と2ポイント増加した。

○「ICTを使った授業はわかりやすい」については、89%（R2:82%）と7ポイント増加した。教員向けの同項目の質問は90%（R1:87%）と3ポイント増加した。府立学校に導入された1人1台端末を、授業等で効果的に活用できていると考えられる。

○「思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている」については生徒向けでは87%（R2:88%）と高い割合を維持しているのに加え、教員では86%（R2:73%）と13ポイント増加した。今後も教職員研修を重ね、さらなる活用を推進する。

【進路指導】

○「将来の進路や生き方について学ぶ機会がある」については、生徒は90%（R2:90%）、保護者も「進路について適切な指導を行っている」については85%（R2:82%）、教員は「一人ひとりにきめ細かい指導している」90%（R2:86%）と、いずれも高評価である。進路指導については学校目標の一つ『第一希望の進路の実現』を達成するためにも継続した方向性での取組を実施していく。

【生徒指導】

○「学校生活についての先生の指導は納得できる」については、生徒向けでは82%（R2:78%）、保護者向けでは84%（R2:84%）であり、8割以上の肯定的評価を得ている。今後も生徒と保護者の両者の理解を得ながら、生徒指導を進めていく。

○保護者は「家庭連絡や意思疎通がきめ細やかで相談に応じてくれる」が79%（R2:79%）で昨年から変化はない。一方、教員の「家庭との緊密な連携ができていく」が83%（R2:81%）と2ポイント上昇している。今後も保護者の立場にたった相談対応をさらに推進する。

○「いじめについて困ったことがあれば真剣に対応」については、生徒は88%（R2:85%）、保護者は89%（R2:86%）とそれぞれ上昇した。また教員についても91%（R2:77%）とR1年の水準に回復した。今後も組織的にきめ細かく迅速な事象対応を行っていく。

○生徒の「学校には相談することができる先生がいる」の項目は、74%であった。昨年の「担任の先生以外にも相談することができる先生がいる」という設問では63%であったことから、今後も様々な教員と気軽に相談できる体制を充実していく。

【学校運営】

○「校内研修は教育実践に役立つ内容」については、教員は86%（R2:74%）と12ポイント上昇し、R1年の水準に回復した。ハラスメントや不登校、学習評価、ICTの活用等、多岐にわたる内容の研修を実施したことで、教員のニーズに応えられたと考えられる。次年度以降も研修内容など、さらに工夫をしていく。

○「授業公開などに参加」について、今年度は62%（R2:40%）に回復したが、R1年度の79%には及ばなかった。今後も保護者に学校教育に参加してもらおう工夫をしていく。

○「学校は日常の取り組みについて、ホームページ等で情報提供に努めている」については、86%（R2:82%）で4ポイント増加した。ライデンメールやブログ発信を充実した結果である。加えて、本年度、学校ホームページをリニューアルし、更新情報をトップページに掲載した。今後も積極的な情報発信に加え、学校の教育活動を伝わりやすくするよう工夫していきたい。